

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 東幸会	代表者	伊藤 友子	法人・ 事業所 の特徴	八戸市常番町に位置し、中心街から徒歩5分の閑静な住宅地にあることから、交通の便も良く、市立図書館バス停より徒歩1分と、面会者や来客者にも便利な場所に建っています。地域活動としましては同町内会への加入はもとより、地域住民の介護相談へも積極的に取り組んでおります。
事業所名	小規模多機能ホーム サンシャイン	管理者	前田 靖子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	2人	0人	0人	1人	0人	4人	0人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	●様式が決まっている為、変更は出来ないが、評議員から評価を受ける際には、補足で分かりやすい文章を載せて答えて頂きやすい工夫する。 ●2人組で2項目ずつ担当していく、スケジュール的にも余裕を持って取り組んで行く。	◆今回も二人一組で項目ごとに取り組みました。意見のすり合わせの時間を調整し業務を行っていましたが、突発的なことが起き、その日に出来ずに帰宅時間となってしまうことも多々ありましたが、有意義な意見のすり合わせが出来たと思っております。	*特に意見無し	
B. 事業所の しつらえ・環境	●お客様の駐車スペースを確保した為、玄関前ではなく駐車スペースに駐車して頂き、道路の出入りの危険をなるべく減らしていく。 ●駐車場管理者との関係性は悪くはないと思っているが、通路については開設当時の契約が曖昧で、強く言えない部分もある。今まで以上に良好にしていける様に、イベント時の参加の声掛けを継続して、参加回数を増やせるように努力をして関係性をより良いものにしていく。	◆駐車場の台数を増やし、玄関前に停めるのではなく、お客様用の駐車場に停めていただくことが出来ております。また、駐車場管理者との関係性も良くなってきたと思われます。以前はお声がけをしても、参加してくださらなかったのですが、最近では地域交流祭にも参加してくださり、行事への参加が増えてきているので嬉しく思っております。今後も、更に関係性を良くしていくつもりです。	*前回の改善計画は全部実施できている。	

C. 事業所と地域のかかわり	●町内会入会の継続、地域交流祭を実施し地域の方々に施設に対しての理解を深めて頂く。 ●地域のイベントや会議には可能な限り参加し、今まで以上に地域に必要とされる施設へと成長していく。(継続) ●掲示板は見た目が悪くなっている為、地域交流委員で検討し5月までに、利用者と共に作成し綺麗にしていく。 ●公民館祭りへの展示作品を新たに作成していく。	◆地域交流祭を無事に終了できた事を嬉しく思います。地域の皆様も多数参加してくださり、また、ご協力等沢山の方々に支えられました。 ◆地域のイベントに関しては可能な限り参加や物品の貸し出しなど、物理的な物や、ボランティアスタッフとしてのお手伝いなど、充実した1年となったと感じています。 ◆長者公民館祭りの展示にも参加ができ、ペットボトルのキャップで手作りした脳トレには、ご来場者の方々が興味を示し、並べていく姿が沢山見られました。 ◆看板横の掲示板は、利用者様とスタッフで作り上げることが出来ました。立ち止まって見ている通行人の方々も、思っていたよりも多く、地域の皆様や事業所の情報発信の掲示板に成長したいと思っています。 ◆認知症サポーター養成講座を実施し、沢山の地域の方々にご来場いただき有意義な時間となりました。 ◆山車組の方々に冷たい麦茶を提供し、頑張って参加している方々の熱中症予防にも努めました。麦茶提供は恒例としていきたいと考えています。 今年は、最後のパトカーまで利用者様は楽しんで見ていたと感じました。	*前回の改善計画は全部実施できている。	
-----------------------	---	--	----------------------------	--

D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	● 個別外出は時期に関係なく行きたい時に行ける状況を構築して行く。その為にも、ご家族との信頼関係を密にし、何時でも声を掛けた時に理解を示して頂きご協力を得られる環境作りをしていく。 ● “スイカ割り”に関しては、地域交流祭が実施できる状況であれば検討していく。	◆ 個別外出では、市内にいる家族、遠方にいる家族とショッピングや食事を楽しんだり、利用者が昔住んでいた場所に行ってみたり、仕事にゆかりがある場所など、今年は沢山の個別外出が出来ました。普段とは違う表情を目の当たりにして、もっと、もっと深堀したいという希望が見えてきています。また、外出しただけではなく、それを今後どのように生かしていくのかを明確にするために、実施報告書を紙面で残し、台帳に挟むことで、担当利用者様の変更があったとしても、その思いが引き継がれていくようにしています。 ◆ スイカ割りは、地域交流祭とは別に町内会行事として、当事業所のエントランスで実施しました。場所の提供や物品の提供で協力させていただきました。	* 充分すぎる位やっているのではないか？ これ以上、やってくれている所はないんじゃないか？良くやっていると思う。	
E. 運営推進会議を 活かした取組み	● 現在役職職員のみ参加となっている為、他職員も参加出来る環境を作りたいと思う。	◆ 現在、役職者以外にスタッフを一名参加させています。年に 6 回しか開催されないのので、6 名しか参加できませんが、これからも、毎回、参加できるように調整し、全スタッフが参加し、学べるようにしていきたいと思います。	* 前回の改善計画は実施できている。	

F. 事業所の 防災・災害対策	●自事業所以外の合同避難訓練などあった場合には積極的に参加していく。(継続) ●BCPの更新、シミュレーションは継続。 ●防火管理者に依頼し消防との調整を図ってもらい、消防立ち合いの避難訓練、地域住民にも声を掛け消火器の使用訓練を行う。	◆BCPのシミュレーションは継続して行っています。 ◆今現在、消防立ち合いの訓練や消火器の使用訓練は出来ていませんが、可能な限り実施に向け検討していきたいと思っております。	*防災計画について外部の我々にも見えるようにしてほしい。	
----------------------------	--	---	-------------------------------------	--

令和 7 年度

小規模多機能型居宅介護のサービス評価

事業所評価一覧表

*これまでの取り組みや関わりをスタッフ個人で振り返り、事業所全体の評価として実践状況を確認し、1 項目ごとにまとめたものです。

実施事業所

社会福祉法人 東幸会 小規模多機能ホーム サンシャイン

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年 9月13日 (16:50~17:50) 令和7年 10月10日 (15:00~16:10)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	前田・萩ノ沢・工藤・石渡・木村 宮下・山田・佐々木・畑中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	6人	1人	人	10人

前回の改善計画	・利用者の情報共有カード（ケアプランを記載）を作成し、いつでも見られるようにしておき、スキルの違いがあっても、カードを見る事によって統一したケアを出来るように努める。 ・ひもときシート（情報収集シート）を活用しているが、今まで以上に充実した内容にしていき、情報共有カードに落とし込んでいく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・情報共有カード（ケアプランを記載）や、ひもときシート（情報収集シート）の活用は充実している。情報共有カードに関しては、変更があるたびに更新し、申し送り、LINEWorks でアナウンスし統一ケアの実践に繋がった。また、利用者の知り得た情報を担当ワーカーに報告するなど、利用者についての情報も常に新しいものとなっている。 ※LINEWorks とは全職員に配布されているスマートフォンのアプリ

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	✓				10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	✓				10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	✓				10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	✓				10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・台帳やLINEWorks、申し送り簿等で最新の情報収集が可能であり、同時に情報共有カードを確認し統一ケアを行う事で利用者に対して職員が新人であっても戸惑う事なく実施することが出来ている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者の変化が多く情報共有カードの更新やLINEWorks での情報共有の時期が遅れてしまったり職員のスキルの差で、解釈のずれが生じてしまったりしていた。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・担当以外の利用者の都度変化していく情報を情報共有カードやLINEWorks 情報も再度確認し、変更になった根拠などもきちんと理解する努力をし、書かれているから実施する、ではなく根拠を理解し、何故変更になったのか?なぜ必要であるのか?と理由も考察し統一したケアが出来るように目指していく。 ・担当利用者以外のひもときシートを意識的にみるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年 9月13日(16:50~17:50) 令和7年 10月10日(15:00~16:10)
2.「～したい」の実現(自己実現の尊重)	メンバー	前田・荻ノ沢・工藤・石渡・木村 宮下・山田・佐々木・畑中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	7人	1人	人	10人

前回の改善計画	・職員全体で支援する気持ちが欠けている為、改めてチームとしての意識改革を研修に参加した職員が、チームビルディングやメンターの技法の下実践していく。 ・様々な病気、障害を抱えている方々とも意思疎通が出来るように、各職員が自己研鑽に励み、利用者の思いを聞き出せるコミュニケーション技法を行っている職員を見習い、会話だけがコミュニケーションではない事を理解しケアを行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・チームビルディングやメンターの技法の活用は充実していたと思う。 ・研修に関しても、自ら行きたい研修に参加でき、得たものを会議などで共有できた。 ・コミュニケーション技法については、ボディーランゲージ(身体言語・身振り言語・肉体言語)についても深掘して学んだ。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?		✓			10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		✓			10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	✓				10
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		✓			10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者とのコミュニケーションの中で好きな事ややってみたい事を自己決定してもらい、個別外出を基点に利用者の気持ちを知り深い関りが出来ている。 ・自立支援に向けてひもときシートや利用者とのやりとりで聞き得た情報等ミーティングを通し共有出来ている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・家族の要望の変更、身体のレベル変化などでいったん決めた当面の目標やゴールが不明確になりケアに繋がっていない場合が多い。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・利用者の“今”を見ることによって、毎日変化していく姿に合った支援を検討しながら対応していく。 ・日々の業務の中で、朝、夕の申し送りだけではなく、日中も情報交換を出来る時間を作り、利用者様について、情報量を厚くしていき、できること、どの部分を手伝うとできるようになるのか?等、思い込みを無くし利用者に向き合っていく。 ・最終目的を実施するために、小さな目標を達成していただき、成功体験の積み重ねで生きがいを持ってもらう。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 9 月 20 日 (16 : 50 ~ 17 : 30)
令和 7 年 10 月 10 日 (15 : 45 ~ 16 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー 前田・萩ノ沢・畑中・木村・工藤・
佐々木・山田・宮下・石渡

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	7 人	3 人	人	人	10 人

前回の改善計画	
・利用者に対しての“気づき”や“何か変”を捉える事は怠る事無く継続し、介護者側の思い込みのケアではなく、利用者が現在何に困っていて、どんなケアを必要としているのかを把握し適切なケアを行っていく。 ・利用者の状況に変化が表れた時は、速やかに情報共有を行い、適切な対応を心掛け、必要な所に家族も交えて支援して行く。	
前回の改善計画に対する取り組み結果	
・思い込みのケアは1つもなくその日その日の利用者様を観察し、気づきや何か変？を確実に捉え受診に繋げる事が出来た。速やかに家族と情報共有し受診を促した結果、入院となり重大な病気が見つかり、治療をすることが出来た。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	✓				10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	✓				10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		✓			10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	✓				10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	✓				10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・担当者会議で得た情報や決まった内容を LINEWorks 等で発信して支援が出来ている。いつもとの違いやちょっとした変化の情報も共有され随時更新で、素早く対応が出来各人に合わせた個別なケアが出来ている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・出来ていない訳ではなく新しい情報と前の情報の更新に差が出ていた。 ・以前の暮らしは家族関係も薄かったり認知症を患っていて正確な情報を得られないケースが多くなった為	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・担当が積極的に情報を LINEWorks 等で発信していき、ひもときシートや情報共有カードの更新が出来、必要なケアを更にケアプランに落とし込んでいく。 ・利用者や家族がよく話している事以外の話を担当者会議や家族との交流の場で引き出し、正確な情報を得られる様にしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 10 月 10 日 (15 : 00 ~ 15 : 30) 令和 7 年 10 月 10 日 (15 : 55 ~ 16 : 15)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	荻ノ沢・木村・宮下・山田・畑中・石渡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	2 人	7 人	1 人	人	10 人

前回の改善計画	・ひもときシートを繰り返し更新していく事によって、自宅での生活や今までの生活などに焦点を当てて考えていく事が出来ると思う為、ひもときシートの継続、定期的な更新を行っていき、ケアプランに更に落とし込んで行けるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・全スタッフがひもときシートを作成出来るようになっており、情報共有カードに落とし込み、統一したケアとケアプランの実施ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	✓				10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	✓				10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	✓				10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		✓			10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・できる限り本人だけではなく家族とも情報を得られる様に接し担当者会議で話し合いをする場を作りケアの再確認をしている。自宅での生活に重点を置き、サービスの調整をし、家族との時間を過ごしてもらうよう声掛けし、後日様子を聞いて家族と共に支えていく事が出来ている。 ・民生委員の方から、情報提供をしていただき、紹介先のご自宅に伺い、介護保険申請の相談や今後について相談やフォローが出来ている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・民生委員や地域資源を必要とする利用者が少なくまた、どのように使うか情報が不足している為。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・地域資源について勉強会を開催し学び、必要な利用者に活用していく。 ・これまでの生活歴や事業所以外の様子を送迎時や家族参加のイベントの時に積極的にコミュニケーションを図り、担当者会議などでは聞けないような、雑談のような内容からも引き出し、利用者を把握するように努めていく。	

5. 多機能性ある柔軟な支援

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	7人	人	人	10人

前回の改善計画	【令和6年度 出来ている点の継続】
送迎時のコミュニケーションや連絡ノートを活用し、利用者、家族から必要な情報やニーズを引き出す。それを LINEWorks で発信する事により、同時に職員間で情報共有し、検討する。地域資源も活用し適切な支援をしていく	
前回の改善計画に対する取組み結果	・送迎時の会話や連絡ノートに自宅での過ごし方を記入してもらうことで、利用日以外の様子を把握することが出来ている。情報共有することで地域資源も活用できている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	✓				10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？		✓			10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	✓				10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	✓				10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・体調、状態に合わせ、臨機応変に利用調整出来ている。また、家族の要望に応じ、即訪問対応などの支援が柔軟に出来ている。 ・自立支援の結果、利用者の自宅で過ごせる時間が増えている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・日中の人員基準を守るため、宿泊を希望通りに対応できない事がありご迷惑をおかけした。また、夜勤者を育成中に、宿泊を希望する利用者が居なくなったため、育成も出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
【出来ている点の継続】 ・体調、状態に合わせ、臨機応変に利用調整出来ている。また、家族の要望に応じ、即訪問対応などの支援が柔軟に出来ている。 ・自立支援の結果、利用者の自宅で過ごせる時間が増えている。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 9 月 20 日 (17:20~17:30) 令和 7 年 10 月 10 日 (15:40~15:50)
6. 連携・協働	メンバー	前田・荻ノ沢・松橋・畑中・佐々木・石渡 工藤・山田・宮下・木村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6 人	4 人	人	人	10 人

前回の改善計画	【令和 6 年度 出来ている点の継続】
・町内会のイベントには可能な限り参加、協力し、施設の行事に地域の方を招き入れるなどして、地域との連携を密にしていける。 ・自治体、地域包括支援センターから参集があった場合、積極的に参加していく。	
前回の改善計画に対する取組み結果	・町内会イベント、長者公民館祭りの出展、地域交流祭等地域の方々と交流できる機会が増え、コロナ禍前に何度も議題にあがった、認知症サポーター養成講座を開催することができ、近隣からたくさんの参加者が集まり、連携については申し分ないと思っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか?	✓				10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?				✓	10
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか?	✓				10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	✓				10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・地域交流祭を再開し、思ったよりも参加者があり空白を感じさせないまま終了することが出来た。これからも継続し開催していける自信となった。 ・町内会行事へボランティアスタッフの協力、クーラーボックスの貸し出し等、出来る限りのことは協力できたと思っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・事業所主体の会議は出来ているが、高齢者支援センターの会議はいつ行われているか分からない為、参加出来ていない	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
【出来ている点の継続】 ・地域交流祭を再開し、思ったよりも参加者があり空白を感じさせないまま終了することが出来た。これからも継続し開催していける自信となった。 ・町内会行事へボランティアスタッフの協力、クーラーボックスの貸し出し等、出来る限りのことは協力できたと思っている。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 7 年 10 月 10 日 (16:00 ~ 16:20) 平成 7 年 10 月 10 日 (16:30 ~ 16:40)
7. 運営	メンバー	萩ノ沢・木村・畑中・石渡・佐々木 宮下・山田・工藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6 人	4 人	人	人	10 人

前回の改善計画	【令和 6 年度 出来ている点の継続】
・運営、事業所に対しての勉強会や研修に参加してもらい、知識を深め温度差をなくしていく。 ・運営推進会議では、意見を出して頂きやすいように、より良い関係性を構築していく。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
・勉強会や研修に地域の方も参加して頂き知識を共に深められた。 ・運営推進会議に地域の方も出席し運営に反映できている。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	✓				10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	✓				10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	✓				10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	✓				10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・運営推進会議を定期的に行い、地域の方からの情報や要望等の意見を頂き共有する事で運営に理解を頂けている。 ・町内会の行事やイベントなどに積極的に参加し交流を深めている。 ・認知症サポーター養成講座に地域の方も参加し地域と協働した取り組みを行えている。 ・事業所が必要とされる拠点となるために、様々な企画をして施設内を見学する機会を設けたり、掲示板を作成し、常に情報発信をしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・報道に対して周囲の意見や思いに対して不十分だったのでは?と感じている。 ・事業所の運営に対しては会議などで発言できているが、法人の運営については分からない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・全職員が順番に運営推進会議や地域の行事に参加することにより、地域の方々と交流し情報交換したり、お互いの行事に協力し合う事で引き続き良好な関係を築いていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 7 年 10 月 10 日 (16:00 ~ 16:20) 平成 7 年 10 月 10 日 (16:30 ~ 16:40)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	荻ノ沢・木村・畑中・石渡・佐々木 宮下・山田・工藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7 人	3 人	人	人	10 人

前回の改善計画	【令和 6 年度 出来ている点の継続】
・リスクマネジメントの考え方を理解する。言葉での拘束や何気ない声掛け一つにしても、声のトーンなど、相手の目線に合わせて話す事で利用者の気持ちに寄り添えるケアが大切だと認識する。	
前回の改善計画に対する取組み結果	・細かな事でもヒヤリハットを書く癖をつけ、LINEWorks でアナウンスをし、全職員が閲覧し共有することで同じ失敗を繰り返さないように意識し、より良いケアができるようになっている。 ・声のトーンや目線を合わせて話すなど、利用者を尊重し気持ちに寄り添ったケアが出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	✓				10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	✓				10
③	地域連絡会に参加していますか				✓	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	✓				10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ヒヤリハットに重点を置き、それを共有することで事故に繋がらないように努力している。 ・法人の研修の他、施設内の勉強会は以前より増えている。また、外部のスキルアップの研修にも多く参加している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域連絡会への参加は、出席の機会がない為、出席ができていない。 ・外部・内部研修に参加しても発表（研修報告）する機会が少ない。 ・外部研修に参加できる人数が限られており、まだ参加できていない職員もいる。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・研修への参加の機会を多くし、外部研修やハイブリット研修（会場と ZOOM の同時開催）などの案内が提示された時には、全職員がスキルアップできるように参加の希望をしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 9 月 13 日 (16 : 50 ~ 17 : 00) 令和 7 年 9 月 20 日 (17 : 00 ~ 17 : 00)
9. 人権・プライバシー	メンバー	畑中・石渡・木村・工藤・荻ノ沢 山田・松橋・佐々木・宮下・前田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6 人	4 人	人	人	10 人

前回の改善計画	【令和 6 年度 出来ている点の継続】
・ホール見守りや利用者対応方法にスキル差がある為、スキルの高い職員が指導を行い、差を縮められ「ちょっと待ってて」等の発言が発せられない環境を職員同士で切磋琢磨して作り上げていく。 ・小規模会議に参加した職員としていない職員では、次の日からの動きが違うとの事で、参加出来なかった夜勤者、遅番者には終了後、利用者に対しての大きな決まり事等リーダーが申し送る。LINEWorks にて決まり事を発信し、細かい会議内容は役職者から各々がきちんと情報収集をする様に努め、ふとした会話でも不適切ケアに繋がらない様にしていく。	
前回の改善計画に対する取組み結果	・新しい職員が増えたが、先輩の指導、および上記の内容を徹底しているため不安なく業務が出来ている。 ・新人職員より、この職場に来て「ちょっと待ってて」などの言葉の抑制を聞いたことがない、という意見もあり、前回の取り組みに対し職員の変更があっても継続して出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	✓				10
②	虐待は行われていない	✓				10
③	プライバシーが守られている	✓				10
④	必要な方に成年後見制度を活用している				✓	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている		✓			10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・毎月実施しているセルフチェックで自身を振り返ることが出来ており、日頃から自然に意識付けされ、身体拘束や虐待に対しての意識は確実に根付いている。記入された意見には管理者が返答をし、小規模会議の際に重要な部分は検討する、必要時は面談や聞き取りなどを行い、事業所として誠実に向き合うことが出来ている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・成年後見人制度を必要としている利用者がおらず活用出来ていない。 ・家族への連絡ノートの記入、記録確認等利用者のテーブルで見守りながら行っているため、急に呼ばれ、席を立つ場合に個人情報がおろそかになっていることがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・今後、成年後見制度を必要とする利用者が増えると思われる。状況をきちんと精査し、必要な利用者様には、きちんと説明出来るように研修などで学び、積極的に生かせるようにしていく。 ・和室や利用者のテーブルで個人情報を扱っている時には、周りの利用者様に十分配慮し、急に呼ばれても慌てずに、きちんと個人情報を守る環境を自身で工夫し業務をこなしていく。どうしてもおろそかになってしまう場合は、利用者の目の届かない場所で行うようにする。	